

旧安曇郡内における苗字

分布とその由来

刈間 健志

地域特性の高い旧安曇郡内の苗字

分類

- ① 極めて戸数が多く、地域特性の高い苗字で、全国ランキングでも上位。
- ② 極めて戸数が多く、地域特有の苗字
- ③ 戸数が多く、地域特有の苗字
- ④ 戸数は少ないが、地域特有の苗字
- ⑤ 地域性のある苗字

★明治時代以前の記録にある苗字

(当該苗字が戸数で県内他地域を圧倒しているケースを①②③④の四段階に、県内他地域にも戸数の多い地域があるものの旧郡内との所縁の深さが窺われるケースを⑤に分類した)

苗字	分類	地域	苗字	分類	地域
丸山	① ☆	安曇一円	務台	③	三郷(温)
平林	① ☆	安曇一円	白沢	③ ☆	松川(川西)
望月	② ☆	豊科(細萱)／穂高一円	牛越	③ ☆	大町(常盤西山)
等々力	② ☆	豊科(南穂高・重柳／穂高)	一志	③	大町(社宮本)・堀金(中堀・小田多井)
小穴	② ☆	豊科(南穂高・踏入)／温	郷津	③ ☆	大町(平海ノ口)・白馬(北城深空)／小谷
降幡	② ☆	三郷(小倉)			
下里	② ☆	豊科(重柳・光)			
水谷	②	豊科(高家)	鷲沢	③	小谷・大町一帯
矢口	② ☆	池田(会染)・松川(細野・東松川)／大町、白馬	海川	③ ☆	大町(平借馬)
			輪湖	③	梓川(上野)
勝野	② ☆	池田(中鶴)・大町(八坂)	片瀬	③ ☆	池田(滝沢)
横川	②	白馬(神代飯田)／大町、小谷一帯	長沢	③ ☆	白馬(神城佐野)／大町
			下川	③	白馬(神城飯田)
宮田	② ☆	大町(美麻青具)・松川(東松川)／白馬北城、池田	柏原	③	白馬(神城堀之内)
			二村	③	梓川(梓)
矢花	③ ☆	明科(七貴)・池田(渋田見)	草深	④ ☆	豊科(光)
猿田	③ ☆	堀金(田多井)	鶴見	④	三郷(温)
布山	③	三郷(小倉)	沖	④	明科(七貴)・中川手)
米倉	③ ☆	堀金(上堀)	胡桃	④	穂高(有明)

苗字	分類	地域	苗字	分類	地域
矢野口	④	穂高(有明)	有川	④	松川(細野)／池田
曾山	④	堀金(下堀)	渋田見	④ ☆	大町(平野口)池田(池田)
鹿川	④	堀金(田多井)	大厩	④	大町(八坂小菅)
千国	④ ☆	小谷(千国乙・黒川) 穂高(有明・耳塚)	榛葉	④ ☆	松川(板取・神戸)
			梨子田	④	松川(川西)
柴野	④	三郷(温)	一柳	④ ☆	松川(板取)
帯刀	④ ☆	池田(正科)・松川(中村)	堀島	④	松川(上緑)
波場	④	明科(中川手)	塩島	④	白馬(北城塩島)
矢ノ口	④	穂高(有明)	嶺村	④	白馬(北城)
大堀	④	明科(中川手)	江津	④ ☆	大町(美麻青具)／白馬
加々美	④ ☆	堀金(中堀)・明科(中川手)	津滝	④	白馬(神城堀之内)／大町
木口	④	穂高(有明)	太谷	④	白馬(北城八方) 大町(平中綱)
保尊	④	穂高(穂高)			
平倉	④	堀金(下堀)	傘木	④ ☆	大町(平稻尾)
岡里	④	三郷(明盛)	伝刀	④	大町(平借馬)
鳥原	④	穂高北(穂高)	菅沢	④	大町(常盤清水)
隠岐	④	明科(中川手)	日堂	④	小谷(日道)／大町
犬飼	④ ☆	島内一帯	一本木	④	大町(常盤下一)
牧石	④	三郷(小倉)	田多井	④	梓川一帯
降簾	④ ☆	豊科(高家)	青柳	⑤ ☆	堀金(田多井・下堀)穂高
長幅	④	明科(光)	高山	⑤ ☆	島内(島高松)
蓮井	④	穂高(矢原)	浅川	⑤ ☆	穂高(牧)
坂楨	④	豊科(新田)	曾根原	⑤ ☆	豊科(高家)・穂高(有明)
請地	④	明科(七貴)	藤原	⑤ ☆	穂高(柏原・牧)
岩岡	④ ☆	梓川(倭岩岡)	二木	⑤ ☆	三郷(明盛)・梓川
島村	④ ☆	島内(東方)	三枝	⑤	堀金(岩原)・穂高(有明) 豊科(新田)
鱒川	④	梓川(梓)			
荻窪	④	池田(池田)	飯沼	⑤ ☆	豊科(細萱)・穂高(有明)
浅原	④	池田(池田)	岡村	⑤ ☆	豊科(吉野)
大鷲	④	池田(渋田見)	臼井	⑤ ☆	豊科(南穂高・重柳)
和沢	④ ☆	池田(会染花見)	鳥羽	⑤ ☆	豊科(南穂高)

苗字	分類	地域	苗字	分類	地域
甕	⑤ ☆	三郷(温)	鬼窪	⑤	池田(池田)
古幡	⑤ ☆	三郷(小倉)	猪又	⑤	小谷一帯／池田(池田)

内川	⑤ ☆	明科(中川手)	馬淵	⑤	松川(細野・北細野)
細萱	⑤ ☆	豊科(細萱)	甲斐沢	⑤	松川(川西・緑町)
西山	⑤	大町一帯	仁科	⑤ ☆	大町(八坂切久保南)
北林	⑤	堀金(上堀)	篠崎	⑤	白馬(神城三日市・沢渡)
野本	⑤	三郷(明盛)	藤巻	⑤	大町常盤上一
三原	⑤	豊科(中曾根・熊倉)	宇海	⑤	大町平森
大倉	⑤	三郷(小倉)	平瀬	⑤ ☆	大町
藤松	⑤ ☆	三郷(温)・豊科(光)	貝梅	⑤ ☆	池田(堀之内)
小倉	⑤	豊科(徳次郎)	宇留賀	⑤ ☆	堀金(三田田尻) 穂高(穂高)・島内(北方)
石曾根	⑤	三郷(温)			
堀金	⑤ ☆	豊科南穂高踏入・寺所	遠藤	⑤ ☆	池田(渋田見・池田) 穂高(有明)・大町(宮本) 明科(南陸郷)／豊科一帯
幅	⑤	明科(南陸郷小泉)			
高原	⑤	穂高(有明)			
金森	⑤	穂高(富田)			
板花	⑤	堀金(田多井)			
会田	⑤ ☆	穂高(有明)			
耳塚	⑤ ☆	穂高(有明新屋)			
稻田	⑤ ☆	穂高(柏原塚原)			
西牧	⑤ ☆	梓川(梓)			
長崎	⑤	豊科(光)・梓川(梓)			
丑山	⑤	三郷(明盛)			
越原	⑤	穂高(有明)			
岩月	⑤	三郷(温)			
加科	⑤	三郷(明盛)			
沢渡	⑤ ☆	穂高(有明)・小谷(清水山)			
栗林	⑤ ☆	大町(常盤方面)			
那須	⑤	池田(内鎌)			
今溝	⑤	池田一帯			
師岡	⑤ ☆	池田(渋田見)			

主要苗字の地域分布

旧安曇郡域で特に件数の多い苗字の分布を比較した。数字は電話帳掲載の件数(概数)。なお南安曇は2005年度版、大北は2011年版を使用した。

大北では地域に多い三苗字をさらに追加した。()内は特に集中する地区。

	明科	豊科	穂高
丸山	100 (七貴)	450 (吉野・鳥羽)	300
平林	40	90	110 (有明・北穂高)
小林	100	150 (重柳)	260
中村	20	50 (新田)	140
高橋	30	110 (徳次郎)	140 (北穂高)
伊藤	20	60 (成相)	90

	梓川	堀金	三郷
丸山	110	120 (倉田・岩原)	130 (明盛)
平林	20 (上野)	30 (下堀・中堀)	25
小林	20 (倭)	50 (下堀・中堀)	90 (温)
中村	30 (倭)	30 (下堀)	160 (温)
高橋	15	35 (田多井)	80 (明盛)
伊藤	15	20 (上堀)	20

	大町	松川	池田
丸山	180	60 (板取)	100
平林	180	100	50
小林	210	50 (東松川)	80
中村	150	20 (東松川)	30 (渋田見)
高橋	150	30 (東松川)	20
伊藤	170	40	40 (渋田見)
太田	110 (常盤方面)	50 (反川)	70 (内鎌)
田中	120	20	70
西沢(澤)	240	20	20

	小谷	白馬	
丸山	20	100 (北城八方)	
平林	5以下	20 (北城佐野・堀之内)	
小林	30	20	
中村	20	40	
高橋	5 (千国乙)	20 (北城みそら・八方)	
伊藤	10	20 (北城白馬・飯田)	
太田	30 (千国乙)	140 (北城八方)	
田中	5	40 (神城飯森・飯田)	

西沢(澤)	15	20	(神城沢渡)	
-------	----	----	--------	--

旧安曇郡内にみえる苗字の由来・記録

由来調査には南安曇郡誌、北安曇郡誌、松本市史・穂高町誌・明科町史・堀金村史・三郷村史・梓川村史・豊科町史・池田町史・松川村史・大町市史・白馬村史などを基礎資料に、必要に応じて関連文献を渉猟しつつまとめたものである。

結果に不十分な点があることは否めないが、会員諸氏の苗字研究の一助に加えていただけたら幸いである。

苗字	人口の多い地域	由来・記録
伊藤	安曇一円	江戸時代、吉野村・重柳村庄屋 小川村・美麻村の伊藤氏は武田家家臣
中村	安曇一円	会田氏から分かれる。中村城主
田中	安曇一円	塔原氏家臣。江戸時代、会染村にも居住記録。
小林	安曇一円	江戸時代、池田組庄屋
山田	安曇一円	小笠原秀政時代の被官
清水	安曇一円	江戸期、松川組上一本木村 組手代 大町常盤の清水家は小田原の出で代々大庄屋
太田	安曇一円	小笠原家家臣。刈谷原城主
青木	安曇一円	塔原氏家臣。茶臼山城の留守居役。
山崎	明科	塔原氏家臣、山崎善七郎または藤五郎は荻原山崎氏の祖。

		荻原城主。江戸期は荻原村大庄屋
松田	大町・池田	仁科氏一族
遠藤	大町・池田	細萱氏支族
藤原	穂高	穂高神社大祝
中山	池田・松川	江戸期、広津村に居住記録
竹内	豊科・堀金	小笠原貞慶時代、飯田・穂高・氷室に知行地。中萱村組手代
野口	明科	仁科氏有力被官。大塔合戦に参戦。平高清に従って伊勢より来住と伝えられる
小松	三郷・梓川	貞享騒動時、北大妻庄屋
飯田	豊科	犬甘氏支族
中野	梓川	西牧氏支族。中塔城主
望月	穂高	滋野氏。小県望月村の土豪。江戸期、熊倉村・等々力町庄屋
高山	島内	犬甘氏寄子 江戸期、下鳥羽村庄屋
内山	池田	江戸期、寺子屋師範に内山真弓
岡村	豊科	江戸期、吉野村筋組役人・庄屋
宮下	明科	塔原氏家臣。上花見城主。麻績神明宮神職
中沢	梓川・三郷	結城合戦信濃軍に参戦。江戸期、南大妻村庄屋
海川	大町	元は安倍姓だが武田に属してから海川姓。江戸期大庄屋
倉科	大町	小笠原貞慶、倉科半五郎に安曇郡内の地をあてがう。後に松本町問屋

苗字	人口の多い地域	由来・記録
丸山	安曇一円 (長野・新潟の二県で全国の四分の一を占める)	日岐大城城主、藤原姓丸山氏に仁科盛慶が入婿(仁科系丸山氏)。 丸山肥後は日岐大城主。丸山兵庫と丸山丹波は平瀬氏寄子として平瀬城の戦いに参戦。石川氏時代には地代官。 (一説に甲斐武田家加々美氏に仕える丸山氏あり。真々部城主) 江戸期、吉野村中村の堀屋敷に住んで大庄屋を務める。 堀金地域の田多井村・小田多井村・田尻村の庄屋
平林	安曇一円	承久の乱に松代、英多(あがた)荘の平林氏みえる。応仁の頃、上尾城城主布施氏が平林氏を名乗る。また小笠原秀政の被官や諏訪氏系図にも平林氏がみえる。江戸期、各地域の庄屋
関	明科	仁科盛家の養子 平高清に付き添い伊勢国鈴鹿より来住。以降仁科氏被官となる。大塔合戦では小笠原方に関氏の名がみえる。 戦国期、塔原氏家臣。江戸期、池田組庄屋・川手村庄屋
矢口	池田	平高清に付き添い伊勢より来住。(渋田見氏系図) 中世、小笠原家被官、細萱氏を名乗る矢口氏あり。
犬飼	島内	中世は犬甘姓、安曇郡犬甘島を本貫とする。大伴を名乗り小笠

		原家家老職を務める。(家紋は丸に石畳) 平瀬氏、古宮氏、村井氏、桐原氏、熊倉氏、及木氏、飯田氏、成相氏、細萱氏など土豪支族も多く、穂高神社若宮に奉仕。 古代豪族「辛犬甘氏」との関係は不明
細萱	豊科	犬甘氏支族。仁科氏や小笠原氏の被官となる(小笠原家侍大将) 穂高神社大旦那や宮奉行を歴任。池田地域には矢口や遠藤を名乗る細萱氏。江戸期には農民化したと思われる。
仁科	大町	始祖は安倍とも安曇とも平とも伝えられる古代豪族で安曇郡内に有力支族を輩出。平安末期より院と結びつき平を名乗る(家紋は丸に對い蝶) 大塔合戦では国人方筆頭として小笠原と戦うが、後小笠原守護の被官となる。戦国期、武田信玄の五男盛信を養子に迎え、仁科正系は事実上の断絶となる。武田家滅亡後、徳川方に願い出て仁科家は安堵され、今に続いている。(家紋は割り菱紋)
二木	三郷	小笠原一族(を自称す)。一説には西牧一族。(「三郷村誌」) 小笠原家家老。家伝「二木家記」(二木豊後守重吉)によれば、武田との戦いの折、劣勢の中塔城に籠って敵を撃退し、小笠原勢唯一の勝利を挙げている。(家紋は三階菱)

苗字	人口の多い地域	由来・記録
堀内	明科	会田岩下家の分家。塩河原 堀之内に土着
宮沢	豊科	江戸期、中曾根村庄屋。陸郷村・南小谷村にも居住記録。
青柳	堀金・穂高	麻績一族(滋野氏)。青柳城主。堀金氏代官。上堀・下堀村庄屋
相馬	穂高	江戸期、会染村に居住記録
臼井	豊科	江戸期、踏入村庄屋
西沢	大町	江戸期、八坂・南小谷・美麻・平の各村に居住記録
浅川	穂高	甲斐源氏? 或いは浅川山に由来か?
栗林	大町	上杉氏家臣。樺沢城主。伊那谷由來說もある
有賀	穂高	小笠原家家臣。諏訪一族
熊倉	豊科	犬甘氏支族
飯沼	豊科	江戸期、細萱村・重柳村庄屋
鳥羽	豊科	江戸期、上鳥羽村庄屋
勝野	大町・池田	細萱氏寄子。江戸期、青木花見村庄屋
茅野	松川	穂高神社御布令大役
下里	豊科	光氏家臣に下里外記・下里伯耆がみえる
猿田	堀金	江戸期、田多井村庄屋
白沢	松川	村上義清の従弟義豊が白沢城に居城。松川に移り白沢氏を称す
平瀬	大町	犬甘氏支族。本家は武田との戦いで滅亡。
榛葉	松川	大塔軍記に標葉氏がみえる。小笠原長時旗本衆
岩岡	梓川	小笠原家被官。岩岡織部「岩岡家記」。一説に犬甘氏支族
降旗	豊科	光(海野)氏家臣。白牧に居す
西牧	梓川	小県の滋野氏。鎌倉中期、西牧地域に土着
小日向	大町	初代小日向長利は小笠原貞朝の四男 (帯刀同族)
片瀬	池田	江戸期、会染村に居住記録
曾根原	豊科・穂高	小笠原家被官
加々美	明科	甲斐源氏。武田家家臣

等々力	穂高	仁科家家臣。大塔合戦は仁科側として参戦。等々力町庄屋
小穴	豊科・三郷	池田組大穴村から踏入村・楡村に来住。大庄屋
降幡	三郷	仁科氏支族。降幡牧に土着
草深	豊科	大塔合戦は仁科側として参戦。草深村出身か?
牛越	大町	江戸期、小泉村庄屋
沢渡	大町	仁科氏支族
苗字	人口の多い地域	由来・記録
堀金	豊科	古厩氏支族。武田家に出仕
甕	三郷	佐久方面から来住。江戸期、長尾組組手代
矢花	明科	塔原氏家臣、川久保(矢花)氏。押野城主
宇留賀	穂高・島内	伊勢より来住。宇留賀村領主。小笠原家侍大将
耳塚	穂高	大塔合戦は仁科側で参戦。小笠原時代は立足に知行地
千国	穂高・小谷	堀金氏支族
川船	島内	犬甘氏寄子
渋田見	大町	仁科氏支族、長生寺氏。後に小笠原家家老
滝沢	明科	塔原氏家臣
中島	明科	池田氏支族。大塔合戦小笠原方にみえる。江戸期、池田組庄屋。
黒岩	堀金	江戸期、下堀村庄屋
山口	堀金	石川氏時代、筋組役人。以降岩原村庄屋
薄井	池田	江戸期、池田組に居住記録
和沢	池田	江戸期、会染村に居住記録
師岡	池田	江戸期、会染村に居住記録
宮田	大町・白馬	大塔軍記、小笠原方に宮田大和守がみえる
一柳	松川	江戸期、松川組に居住記録
大谷	豊科	石川氏時代、寺所村筋組役人
柴	三郷	石川氏時代、小倉村筋組役人
岩原	堀金	石川氏時代、堀金村筋組役人
飯田	豊科	犬甘氏支族。江戸期は真々部・飯田・小海渡村庄屋
井口	穂高	武田氏家臣。江戸期、等々力町・池田組庄屋
保高	穂高	江戸期、保高村庄屋
高木	豊科	江戸期、熊倉村庄屋
林	穂高	江戸期、等々力町庄屋
真島	松川	江戸期、池田組庄屋
菅沼	三郷	江戸期、池田組庄屋
牛越	大町	江戸期、池田組庄屋
上原	池田	江戸期、池田組庄屋

小田切	池田	江戸期、池田組庄屋
市川	池田	江戸期、池田組庄屋
苗字	人口の多い地域	由来・記録
百瀬	安曇一円	江戸期、一日市場村組手代
佐々木	安曇一円	江戸期、中堀新田村庄屋
米倉	堀金	江戸期、中堀新田村庄屋
藤松	三郷	光氏家臣
桑原	三郷・穂高	塔原氏家臣
岩渕	明科	塔原氏家臣
堀平	明科	塔原氏家臣
花村	豊科	塔原氏の被官。田沢郷の代官。
松岡	三郷	長尾に居住記録
小沢	安曇一円	南大妻に居住記録
島村	島内	犬甘氏寄子
小原	島内	犬甘氏寄子

江戸時代の寺子屋師範の苗字

大町) 越智 近藤 田嶋 中村 長谷川 六角 小松 江野
 常盤) 勝野 五十川 富樫 長沢 荻久保 等々力 岸川 平林 清水 佐々木 荒川
 丸山 牛越
 社村) 松田 小野 神方 神崎 丸山 竹内
 平村) 矢口 藤井 傘木 西沢 中村 荒井 北沢 郷津 丸山 岡沢
 池田町) 村山 内山 友成 市川 深尾 横内 伊藤 北原 薄井
 会染村) 浅田 相沢 相馬 和沢 滝沢 矢口 片瀬 坂田 柴田 高山 師岡 内堀
 田中 内山
 広津村) 遠藤 宮田 中山 中沢 原 小林 山崎 牛越 小幡 宮島 中村 北条
 七貴村) 矢口 稲田 渡辺 石川 丸山 下里 山崎 三宅 菅原 宮下 杉山 矢花
 桂 高田 堀内
 陸郷村) 遠藤 上条 丸山 真田 寺島 腰原 関 安坂 宮沢 市川 幅
 松川村) 茅野 山田 川口 榛葉 丸山 高田 一柳 平林 大和田 熊井
 八坂村) 片山 北沢 富田 越野 富山 勝野 山口 越山 平瀬 小出 内山 大西
 梅村 佐藤 山崎 徳山 坂井 松沢 大内 西沢 寺嶋 中村
 南小谷村) 宮島 松本 宮沢 深沢 西沢 千国 細野 田原 花岡
 北小谷村) 山本 根本 宝山 横沢 小林 武田
 美麻村) 小林 松村 倉品 松下 細川 竹村 松田 井口 因幡 中村 江津 永田
 傘木 市岡 太田 西沢

2011年現在 旧安曇郡内からほぼ消滅した氏(うじ)

氏	移転したと推測される地域	由来・記録
阿曇	衰退	8世紀末頃衰微?
安曇部	衰退	安曇部粟麻呂が安曇宿祢を継承 正倉院御物に安曇部真羊、百鳥の墨書
穂高	松本市と岩手県宮古市周辺	中世は仁科系、細萱系穂高氏
日岐	衰退	元は藤原姓丸山氏。仁科一族
古厩	塩尻市	仁科安芸守盛国の三男が始祖
真々部	松本市中山地域	武田時代、真々部城主は丸山姓か?
犬甘	犬飼に表記を変更	江戸時代、本家は小倉藩小笠原家家老
光	衰退	海野一族
塔原	衰退	海野一族
大妻	衰退	西牧氏支族
飯森	麻績村	仁科氏支族
庄科	衰退	仁科一族 江戸期は池田組組手代
池田	衰退	仁科一族
田沢	衰退	海野一族
堀ノ内	衰退或いは堀内に表記変更	仁科氏支族 堀之内氏居館跡
鶴山	衰退	仁科氏支族
宮高	衰退	西牧氏支族
小島	衰退	西牧氏支族
及木	衰退	犬甘氏支族
成相	衰退	犬甘氏支族
熊倉	衰退	犬甘氏支族
古宮	衰退	犬甘氏支族
荻原	衰退	仁科氏支族
小岩嶽	滅亡	古厩一族。武田との戦いで滅亡。
竹の花	衰退	塔原氏家臣

現在も旧郡内に見受けられる苗字の中で、本拠を移したと推測される氏

渋田見 池田(渋田見)→大町(平野口)・池田(池田) 平瀬 島内(平瀬)→大町
 堀金 堀金→豊科(南穂高)・松本市(入山辺) 草深 穂高(草深)→豊科(光)
 沢渡 白馬(沢渡)→穂高(有明)・小谷(清水山) 耳塚 穂高(耳塚)→穂高(有明新屋)
 田多井 堀金田多井? →梓川 会田 四賀会田? →穂高